

くまがや自治連だより

# ひろば

第3号

## 年中行事と地域コミュニティ

副会長 柴 征一郎

農村には、昔から村の鎮守を中心とした地域コミュニティが形成されており、この関係は現在までに及んでいる。この地域コミュニティは誠に強固なものであって鎮守の神社の年中行事である歳旦祭に始まり、四月の春日待、十月の秋日待、十二月の大祓に終わる年四回の祭典がこれを支えているのである。この祭典の集まりの際には、氏子各家庭の個人情報や世情の動きが詳細且つ具体的な話題として提供され、話し合うことによって地域内の相互扶助の精神や強い団結心が養われることになる。

昨今、個人情報の公開は厳しく制限されているが、この個人情報の公開が一方的に悪い行為とされてしまっているのは、いかがなものかと思う。「隣は何をする人ぞ」を地で行く様な地域社会では孤独死や家庭崩壊などを事前にくい止める対策が打てないことになる。もう少し地域住民相互の関係を濃くしても良いのではないかと思う。

# 会長あいさし

会長 小澤 忠治

皆様には、日頃から各地域の自治会活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、自治会の活動は、自分たちの暮らす地域をより良くするために、私たち一人一人が主役となって進めていく「まちづくり」であると考えます。近年は、地域住民の高齢化の進行や地域活動への関心の低下により、自治会活動にも影響があることを認識しております。

誰もが日頃から地域の活動と何らかの接点を持ち、いざという時に助け合える関係を築くことはとても大切です。

お祭りや運動会、敬老会などの諸行事を通して地域の人がふれあい、親睦を深める事で、連携・結束を深めることができ、また、清掃活動や防犯活動、防災活動などに取り組むことにより、地域の課題を解決し、子どもからお年寄りまで、すべての人が明るく住みよい地域を築くことができるものと考えております。

会員の皆様には健康にご留意いただき、安全で明るく住みよいまちの実現のため、更なるご支援、ご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。

## わが自治会

### ◇ 太田地区自治会連合会 ◇

副会長 掛川 良一

太田地区は旧妻沼町の西部に位置し、十五自治会、自治会加入世帯数は千百十四世帯で、南部、中部、北部に分かれて活動しております。

今年は大田小学校、太田地区民の合同運動会が九月二十二日に大田小学校ではじめて行われました。



児童のメインテーマ「最後まで、負けずに、戦う太田っ子」地区民スロークアンに参加して、見て、感じて、深める絆地区役員、小学生が前日の準備から当日の後片付けまで協力し合い、とても盛り上がった運動会となり、強い太田っ子を感じました。

十月二十七日には、太田地区カラオケ発表会が

大田小学校体育館で行われ、「やまなみスクール」の子供達と会場の人全員による、太田小学校歌の合唱「やまなみ」が始まり、各自治会代表の歌、フラダンス、八木節の人達の発表等で盛り上り楽しい一日を過ごしました。これからもこのような催しは続けていきたいと思えます。

また、最近子供たちを対象とした犯罪が多発しています。太田地区でも地域の安全を守るため、防犯パトロールや子どもの見守り活動を実施する自治会が増えてきました。



### 能護寺

太田地区にはあじさい寺として知られている能護寺があります。行基上人により天平十五年（七百四十三年）弘法伝道を巡錫した折り、天下泰平、五穀豊饒祈願のため堂宇を建立しました。後に空海（弘法大師）が荒廃した堂を再建し、真言密教の道場を開き、能護寺にしたと伝えられ、現在の本堂は文化十一年（千八百十四年）に再建され、内

陣には真言宗の本尊仏である、大日如来を安置しました。外陣に阿弥如来を安置し、堂内の天井には、金井烏洲による十六羅漢、岩崎榮益、樋口春翠の花鳥獣の絵があざやかに描かれています。

本堂も再建以来約二百年の歳月が経過し、幾度も修復を重ねましたが、本堂全体の腐蝕にともない、平成十六年七月、檀信徒の協力により大修復が行われました。

あじさいの見頃は六月中旬ですが、その年の気候により多少前後します。この寺には百二十種類約八百株のあじさいと、鉢物が三百鉢程あります。鐘楼堂の東からの眺めはすばらしいものですが、本堂から全体を見るのも格別、別世界の様です。

戦時中には東京駅近くの小学校（現在は廃校）の子供達が約七十人疎開しており、本堂で寝、起、学業をしていたそうです。



能護寺本堂



鐘楼堂

### ◇ 銀座自治会連合会 ◇

会長 平 辰雄

中山道を挟んでJR熊谷駅東部に広がる約二千三百世帯の市街地がわが銀座区。七十五年前の国道工事で、熊谷では初めての歩道、車道が区分され街路樹に柳が植えられた。当時、憧れとロマンの象徴だった「東京・銀座の柳」になぞらえ、安易だが、夢のある『銀座』の地名が誕生。生活環境の良さから人口も増え、急速に発展中。地区内は銀座一丁目自治会から四丁目自治会、住吉町自治会、銀七高山自治会、銀八、末広、県営銀座団地の各自治会が組織されている。大所帯だが「新鮮で幸せを生む街づくり」を目標に、まとまりの良いのが自慢の自治会です。単位自治会でも種々の事業を計画、成果を上げていくが、連合会としての独自の事業をいくつか紹介します。

#### 文化財めぐり

会発足以来、毎年秋に実施しているバス日帰り旅行。自治会員の親睦、郷土の文化財に対する関心を高め、見聞を広めようという試み。最近、文化財、史跡など世界遺産として登録、保護しようという運動が高まっているが、わが自治会では何十年も前から郷土の遺産の勉強会をしているわけです。日帰りなので範囲も近都県に限られています。参加者は多く、毎回百人を超え、バス三台も四台も連ねて行動。バス会社、

観光業者は「今どき一つの町内でこんなに参加する催しは珍しい。まとまりがいい自治会ですね」と驚く。最近では、夕焼け小焼けの童謡のモチーフになった鐘があり、「かるかや・石堂丸」物語の長野市の往生寺、男女双体の道祖神が多い長野・安曇野、国宝松本城を訪れています。



国宝松本城見学

#### うちわ祭

大正十三年に造られた祭屋台が老朽、平成六年、山車を新調したが、巨額の費用も、まとまりのよい銀座区民の協力で立派に完成した。熊谷市の象徴、次郎直実公の勇姿の人形を載せ、うちわ祭だけでなく京都の平安建都千二百年全国祇園祭、東京での江戸開府四百年記念江戸天下祭に出場、銀座の山車を全国に示した。うちわ祭は主として自治会の役員等が運営、係の中に食事係を設け会期中の全食事を祭事係六十余人に給食するのも、地域のみとまりの良さからだ。



銀座の山車

#### 銀座だより

銀座自治会連合会発行の広報「銀座だより」は、どこにもまね出来ない最大の誇り。地区内の全員に町内の動き、計画を知らせようと昭和六十年に発刊、年二回、B5判十二ページ。銀座だよりを読めば、町内の動きがほほわかると、区民から好評を受けている。一回の発行部数は、全所帯に配布できるよう二千三百部。催しの日付け、参加人員など正確を期している。また、紙面を交流の場の一つとし、趣味の写真、短歌、俳句、川柳、随想なども掲載、子供会、子供育成会の動きも、各支部ごとに子供会役員がまとめ、特集しています。



「銀座だより」

# 振り込め詐欺 不審な電話にご注意!

最近、市内で振り込め詐欺が急増しています！市役所や税務署の名をかたり、「税」または「医療費」の還付があるとのことで、折り返し電話をするように仕向ける不審な電話がありました。

## 不審電話の典型的な例

市役所職員(公的機関)をかたるものから「市役所の収税課の〇〇(個人名)だが、少し前に通知を出したが、返答がないので電話をした。医療費の戻りまたは税の還付があるので、近くのATM場所を指定する場合もありへ行つて、フリーダイヤル(0120)から始まる番号に電話をするように。」と電話があります。ATMのところから電話をすると、操作の仕方を次々と指示され、知らぬ間に口座に振り込まれてしまいます。



- ・ ATMに行ったり、相手側に連絡する必要はありません
- ・ 不審に思ったら、言われた番号ではなく、市役所または各行政センターあてにお問い合わせください。

## 自治会に加入しましょう



自治会では新しく熊谷市に住まわれる方々、また、未加入の方々に、自治会への加入をお勧めしています。熊谷市内の自治会は、現在三百六十八の単位自治会で組織されています。

各自治会とも、自分たちの住むまちを明るく住みよい環境にするため、いろいろな行事や活動を行っています。

また、活動を通してより良いコミュニケーションを図るよう努力しています。

自治会はあなたの参加をお待ちしています。

## 編集後記

妻沼に、あじさい(支能護寺)が有るのは書いていましたが、歴史に関してなど、今回の「ひろば」にて詳しく知る事が出来ました。

寺社の祭りひとつでも、各地域毎に異なります。高齢者の多い地区、新興住宅地、純農村地区、とそれぞれ内容、方法、活動も違うと思います。祭りに限らず、自治会活動も変わるのではないのでしょうか？

寄稿いただいた方々に厚くお礼申し上げますと共に、各自治会のご活躍、ご発展をお祈りいたします。

副会長 高橋徳夫



## 訃報

謹んでお悔やみ申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

- ◆ 塚本 英男さん 平成十九年十月八日 逝去
- ◆ 宮町第7の1自治会長 平成十九年十月三十一日 逝去
- ◆ 田島 武さん 逝去
- ◆ 元連合会副会長